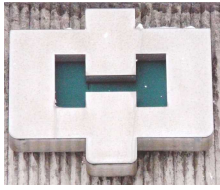


教育目標 「豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒」

重点目標 「豊かな心 確かな学力 健やかな身体」



あ さ ひ こ
朝 日 子

佐渡市立畑野中学校 学校だより

令和2年6月23日(火) 第5号

著・編 校長 宇治 正明 (TEL 66-2058)

生徒の皆さんへ

学校で学ぶことができることの幸せ（その1）

昔は義務教育を卒業して、さらに上の学校に行きたくても行けない、そんな時代がありました。皆さんのおじいさん、おばあさん、ひいおじいさん、ひいおばあさんに聞いてみてください。きっと、「学校に行きたかったけれど行けなかった」というお話しをしてくれる方もいらっしゃると思います。

さて、世界に目を向けると、今も深刻な状況があります。2018年ユニセフ（国連児童基金）が発表した報告書によれば、世界の5歳から17歳の子ども（小学校から高校くらいの子どもの）のほぼ5人に1人にあたる3億300万人近くが学校に通っていません。主な原因は次のとおりです。

- ・学校が近くにない。
貧しい国や地域では、学校の数が少なく、家からは遠すぎて通えないのです。
- ・先生がいない。
先生を育てる仕組みがなかったり、先生に給料を払えなかったりする国や地域があるのです。
- ・学校に通うためのお金がない。
生活をしていくためのお金すら十分に手に入れることもできないため、授業料や教科書代が払えない人が多くいるのです。
- ・家計を助けなければならない。
家が貧しく、家計を助けるために、子どもでも農業など家の仕事を手伝ったり、外に働きに出なければいけないことがあります。
- ・弟や妹の世話をしなければならない。
- ・親が学校に行かせてくれない。
子どもを学校に通わせるくらいなら、働かせたほうがましだと考えている親や、女の子に教育は必要ないと考えている親がいます。
- ・重病にかかった。
貧しい国や地域では衛生環境が悪いうえに、栄養状態も悪いために、病気にかかりやすく、近くに病院もないために病気が重くなり、治らない子どもがいます。
- ・戦争に巻き込まれたり、戦争などで学校が破壊されたり、難民として避難しなければならなかったり、時には少年兵として駆り出されたりする子どもがいます。

そのため、

- 文字の読み書きができない
- 必要な知識を得られない など

のようなことが起きています。

(参考：JICA 国際協力機構ホームページ)

一方、日本では高等学校進学率は97%、大学進学率は54%を超えています。新潟県での大学進学率は約47%（2019年）となっています。この数字は昔の日本、今の世界の現状から見れば私達が思っているほど当たり前のことではないのですね。

学校で学ぶことができることは幸せなことだと思いませんか。

学校で学ぶことができることの幸せ（その2）

それでは、学校で何を学ぶのか。もちろんもっとも大事なことの一つは「勉強」です。日常生活を送る上で、「読み書きそろばん」は昔から必須です。しかし、読めるだけ、書けるだけ、計算できるだけではだめ、です。読んで内容を理解できる、相手に伝わるように表現できる、課題を解くために式を立てることができる、これらの力が必要です。学校の大きな役割は、学校で学ぶ者にこの両方の力を身に付けさせることだと考えます。この学校の役割がないと、先に書いたように、

■ 文字の読み書きができない

■ 必要な知識を得られない など

ということになりかねません。

また、学校で学ぶことは勉強だけではありません。「社会に出たときに役に立つさまざまな力」を学びます。これがもっとも大事なことのもう一つです。学校で経験するさまざまな活動や、一緒に生活する他の生徒や大人との関わりを通して、ともに協力し何かを成し遂げるといった体験ができるのは学校ならではの存在なのです。

学校で学ぶことができることは幸せなことだと、やっぱり私はそう思います。

家庭学習強調週間実施しました

期末テストに合わせて家庭学習強調週間を実施しました。生徒たちは意識して学習に取り組むことができたでしょうか。テスト前の家庭学習時間をグラフにしている学年もあります。みんながどれくらい頑張っているかを知ることで、お互い刺激になるよい工夫だと思います。そして、刺激を受けるだけでなく、自分がどれだけ頑張れるか、自分自身の挑戦につなげていく、これが大切。苦勞なしに達成感を得ることは難しいです。テストが終わっても普段の学習にどれだけ取り組めるか、挑戦してほしいです。

期末テスト終了

生徒の皆さん、テスト勉強は計画的に進みましたか。テストへの取組を振り返り、改良を加えていきましょう。

皆さんに、こんな人になってほしいなあと思っていること4つの内、3つが次のことです。

- ①「すぐにあきらめず粘り強く取り組むことができる」
- ②「人から言われなくても学習や活動ができる」
- ③「将来のために今何をしなければならないかを考えることができる」

始業式と入学式で話した内容です。忘れてしまった人もいるかもしれません。そこで、テストに関連して再度伝えます。

①の例として、

- ・テスト時間をめいっぱい使って、最後の1秒まで問題に取り組みましたか。時間が余ったら何度も何度も答えの見直しをしましたか。残った問題を一つでも多く解答できるように頑張りましたか。

②の例として、

- ・テスト勉強は自分で計画を立ててやるので、宿題とは違います。宿題でなくても勉強する。これです。宿題をするのと、自分で進んでするのとでは、気持ちの状態がまったく違います。

③の例として、

- ・今頑張るのは未来への貯金。過去は変えられませんが、未来は変えられます。今の積み重ねが未来につながります。中学校を卒業したあと、将来の職業のことも考えて生活をしてください。

